

総合開発計画策定特別委員会

平成18年6月23日、今年度第1回目の委員会を開催致しました。平成16、17年の2年にわたり総合計画策定に関し調査研究を進めて参り、最終提言を平成17年11月28日に提出致したところです。今回、審議案件として、(1)御前崎市総合計画の実施計画について(2)電源三法交付金事業の状況について、以上2件に付き審議を致しました。当委員会として提言したものが基本計画書、実施計画書にどのように活かされているかをチェックし、活かされていない場合はその理由を確認していく必要があることで認識を一致させました。

つづ減少していき、10年後には、110億、120億円になると予想される。電源交付金は限られた財源であるので、市民の理解が得られるものを作っていくかなければならないと思っている。という執行部からの説明があつたのを受け、委員のなかから未だ煮詰まつていない事業は、「浜岡莊跡地」と朝比奈、新野幼稚園の問題ではないかと思われる。担当部課長から説明を求めていきたいという意見が出されました。

また、企画調整課長より本年度から2カ年で、御前崎市の国土利用計画とマスタープランを策定する予定であ

市の歳入は、今年度をピークに毎年7億円

づつ減少していき、10年後には、110億、120億円になると予想される。電源交付金は限られた財源であるので、市民の理解が得られるものを作っていないかなければならないと思うている。という執行部からの説明があったのを受け、委員のなかから未だ煮詰まっていない事業は、「浜岡莊跡地」と朝比奈、新野幼稚園の問題ではないかと思われる。担当部課長から説明を求めていきたいという意見が出されました。

また、企画調整課長より本年度から2カ年で、御前崎市の国土利用計画とマスタープランを策定する予定であり、企画調整課と都市計画課が連携し取り組

み始めたところである。計画策定にあたっては、地区の実情に合わせて地区ごとに検討していただきアンケート調査なども実施していきたいという説明がありました。今後、当委員会としましては今回の審議を踏まえ、より良い御前崎市となる様、調査研究を進めてまいります。



原子力対策特別委員会

5号機タービン現場視察

(平成18年6月23日)

去る6月15日定期検査を終えた運転中の5号機が緊急自動停止し、新品同様のプラントで発生したことは誠に残念であります。

たとの報を受け、一週間後の23日原子力対策特別委員会として現場視察を行いました。

安全・安心を願う市民の声にこたえるべく、今後設計・製造者を始め事業者、国による徹

め事業者、国による徹底した原因究明を要望しました。

その後調査が進むにつれ羽根の損傷箇所も拡大しておりますが、いずれに致しましてもしも運転開始から一年余り

しかし乍ら車軸の異常な振動を検知しタービンや原子炉を速やかに自動停止したことに於いては安全側に作動するというフェール・セーフ機能が確認できたものと思います。

本委員会と致しましても引き続き推移を見守り乍ら安全・安心への探究をしてまいります。

